

# 茅ヶ崎市低炭素まちづくり計画

低炭素まちづくりのリーディングプロジェクト  
平成27年度の実施状況報告

平成29年3月

茅ヶ崎市都市部都市計画課

# 低炭素まちづくりの リーディングプロジェクト①

## 将来像

1 歩きやすく、自転車が利用しやすい健康的なまちで暮らす！

## ①自転車走行空間整備 モデルプロジェクト

### ■概要

自転車が利用しやすい環境を整え、自動車から自転車利用への転換を促し、CO<sub>2</sub>排出量の削減を図る。



ネットワークを意識した、自転車レーンの設置、通行区分の明示等の取組の推進。



### ■平成27年度の主な実施状況

- 鉄砲道に自転車専用レーン等を設置  
(東海岸北五丁目交差点～平和学園前交差点〔約1.5km〕)
- ➡ 幹線道路における自転車走行環境が向上。



- シェアサイクル事業の開始  
(茅ヶ崎駅構内観光案内所にて受付)
- ➡ 鉄道から自転車へのアクセスが向上。



### ■課題

- 幹線道路以外の路線についての整備の検討
- 逆走禁止等、走行方法について周知の徹底
- 自動車等運転者に向けた啓発

### ■今後の取組予定

- 茅ヶ崎市幹線道路維持保全計画に基づき、順次整備を推進

鶴溝通り  
(平成28・29年度予定)

左富士通り  
(平成28年度)

鉄砲道  
(平成29年度予定)



資料：茅ヶ崎市幹線道路維持保全計画  
(自転車ネットワーク計画)

# 低炭素まちづくりのリーディングプロジェクト②

## 将来像

1 歩きやすく、自転車が利用しやすい健康的なまちで暮らす！

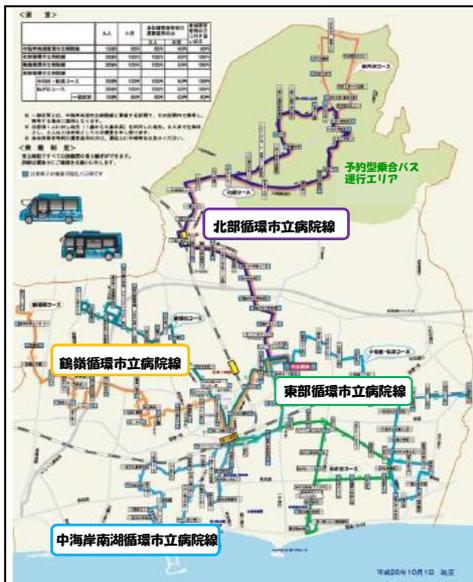
## ②コミュニティバスのサービス充実 プロジェクト

### ■概要

コミュニティバスの利用環境の充実により、移動手段の確保、地域活動の活性化を図るとともに、日常的な自動車への依存を抑制し、CO<sub>2</sub>排出量の削減を図る。



コミュニティバスのサービス対象の拡大と、利用しやすさの向上の検討。



### ■平成27年度の主な実施状況

- 予約型乗合バスの乗合所の増設（2カ所：みずき、行谷）
- ➡スーパーマーケットへの乗り入れにより利便性が向上。

（※予約型乗合バスの利用者数  
5,700人〔前年度比約24%増〕）



- コミュニティバスのバス停移設（辻堂駅西口等）

➡交通量の少ない線路側の裏通りに移設することで、停留時間確保に向けた環境整備が進んだ。また、駅からの視認性が高まった。  
（※コミュニティバスの利用者数  
約42.6万人〔前年度比約2%増〕）



- 公共交通不便地域(中島柳島)でのアンケート調査の実施

➡潜在需要対象者数の試算等により、利便性向上に向けた検討を進めることができた。  
（※7～8月実施。800世帯に配布。サンプル数682）

### ■課題

- 公共交通空白地へのサービスの拡大
- 予約型乗合バスの潜在需要の把握と戦略的な利用の促進
- 予約型乗合バスの団体利用の促進と車両の小型化の検討

### ■今後の取組予定

- コミュニティバス車両の一部大型化  
（中海岸南湖循環市立病院線〔1台〕）
- 中島柳島地域への乗合バスの導入検討
- 北部循環市立病院線のダイヤ改正

# 低炭素まちづくりのリーディングプロジェクト③

将来像

2 高機能で環境負荷が少ないまちで暮らす！

## ③こころの低炭素化 プロジェクト

### ■概要

個々の建築物の低炭素化、環境にやさしい移動手段の選択、緑の創出の促進により、CO<sub>2</sub>排出量の削減を図る。



なるべく高い環境性能を有する住まいで暮らすようにし、そして、そのような高機能な住まいから出かけるときに自家用車よりも、徒歩や自転車、公共交通を選択する暮らしへと、気持ち、こころの低炭素化を促進する。



### ■平成27年度の主な実施状況

- 省エネ機器等の導入支援に関する情報提供（市HP、広報紙等）

➡各種支援事業により、個々の建築物の低炭素化・緑化を推進できた。

（住宅用太陽光発電設備設置補助事業（戸建て住宅）：交付件数187件  
住宅用太陽光発電設備パワーコンディショナ交換費補助事業：交付件数2件  
住宅用コージェネレーションシステム、  
家庭用太陽熱利用設備導入支援補助事業：交付件数99件  
生垣の築造助成：5件、新築記念樹配布事業：551本、等の実施。）

- 低炭素まちづくりに関する情報提供（ちがさき環境フェア2015）

➡「低炭素型ライフスタイル」の生活イメージの周知を図ることができた。



### ■課題

- 個々の建築物の低炭素化、各交通手段の環境性能・経済性、みどりの景観改善・冷却効果等、低炭素型ライフスタイルの付加価値に関する啓発活動の検討
- 太陽光発電設備設置件数の減少を鑑みた、今後の補助制度のあり方についての検討

### ■今後の取組予定

- 低炭素型ライフスタイルの付加価値に関する啓発ツールの作成
- 各種補助制度の継続的实施

## ④ みんなの大切なみどりをまもる プロジェクト

### ■概要

現存するみどりの保全をはかり、CO<sub>2</sub>吸収量を維持する。



民有地のみどりの維持管理手法や、地域の中、都市の中でのあり方の検討。



### ■平成27年度の主な実施状況

- 保存樹林32件(約4.6ha)、  
保存樹木24件の助成を実施  
(※前年度比 保存樹林：1件減、  
保存樹木：2件増)

➡市街地に残されたみどりの保全に寄与することができた(指定解除は相続によるもの)。



■新規指定の保存樹木  
(円蔵地内)

- 「茅ヶ崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例」の見直し  
(※平成28年3月 パブリックコメント実施。平成29年4月施行予定)
- ➡保存樹林の指定条件の緩和、市民緑地制度の導入等、  
みどりの将来的な存続に向けた取り組みの検討を推進。

### ■課題

- 現行の保存樹林制度の問題点(相続を起因とする解除申請、  
指定要件を満たす候補地の不在等)への対応
- 地域に親しまれる存在としての、みどりの役割向上のための  
手法の検討

### ■今後の取組予定

- 茅ヶ崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例の改正  
(平成29年4月予定。市独自の保全制度の創設、保存樹林・  
保存樹木指定要件の緩和等を位置づけ。)
- 条例の運用による、みどりの保全に向けた取り組みの推進

## ⑤みんなでみどりを増やす プロジェクト

### ■概要

緑化を推進し、CO<sub>2</sub>吸収量を上乘せする。



公共空間内におけるみどりの配置の推進。民有地内の緑化の促進。



### ■平成27年度の主な実施状況

- 鉄砲道の街路樹リニューアルの仕様設計  
→公共空間内における、歩きたくなるみどりの配置の推進。



- 生垣の築造助成（5件）、新築記念樹配布事業（551本）等の実施  
（※前年度比 生垣の築造助成：1件増、記念樹配布：15本減）

- 民有地内でのみどりの創出の推進。

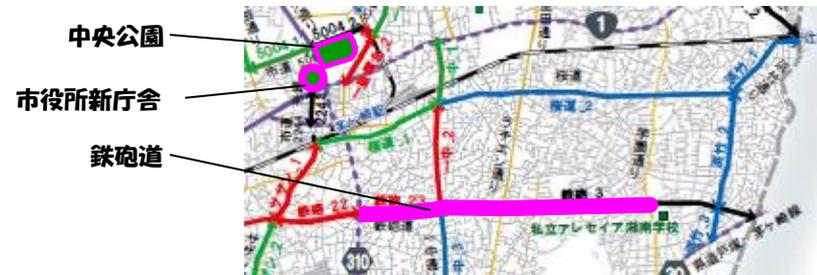
- 「茅ヶ崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例」の見直しに伴い、開発行為に伴う緑化基準の適用範囲の拡大を検討  
→緑化基準の対象を、共同住宅以外の500㎡以上の事務所・店舗等の建築行為に拡大することで、みどりの創出を強化。

### ■課題

- モデルルートへの生垣助成等、緑の連続性を考慮した民有地緑化が望ましいが、複数の所有者の理解を得ることが困難であるため、新たな手法の検討が必要

### ■今後の取組予定

- 鉄砲道の街路樹リニューアルの推進（平成28～30年度）
- 中央公園（平成29年度～）、新庁舎敷地内（平成30年度～）におけるみどりの創出
- 生垣築造、記念樹配布等の継続実施
- 新基準に基づいた、開発行為に伴う緑化義務の強化



# 低炭素まちづくりのリーディングプロジェクト⑥

## 将来像

- 1 歩きやすく、自転車が利用しやすい健康的なまちで暮らす！
- 2 高機能で環境負荷の少ないまちで暮らす！
- 3 みどり豊かで外出したくなるまちで暮らす！

## ⑥20年後、もっと歩きやすくなるためのまち改善プロジェクト

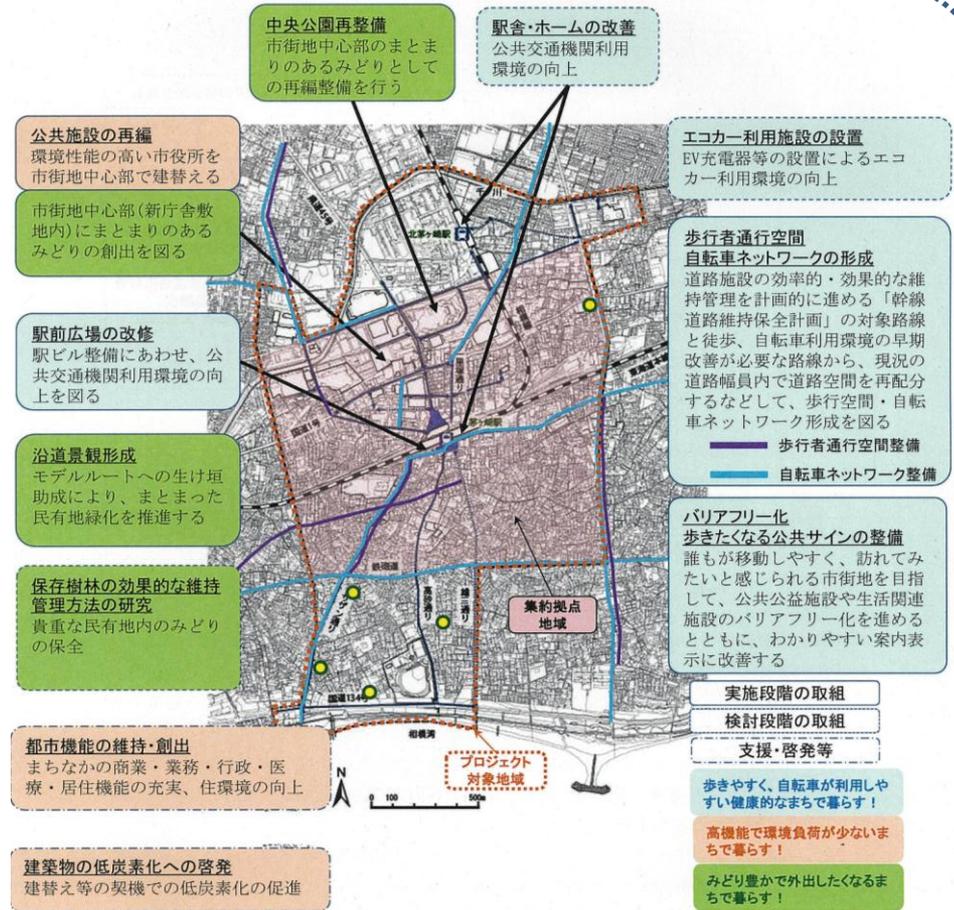
### ■概要

本計画が掲げる三つの将来像の実現に向けた取り組みを進め、人々の移動及び建築物の環境性能由来のCO<sub>2</sub>排出量の削減、みどりによるCO<sub>2</sub>吸収量の確保を図る。



都市の機能が集積している茅ヶ崎駅周辺をモデルに、歩きやすく、歩きたくなるまちに向けたさまざまな視点をパッケージ化して、今から改善に取り組んでいく。

※事業化にあたっては、国土交通省の都市再生整備計画事業の適用を見据え、関連課が連携して積極的な展開を行います。



# 低炭素まちづくりのリーディングプロジェクト⑥

## 将来像

- 1 歩きやすく、自転車が利用しやすい健康的なまちで暮らす！
- 2 高機能で環境負荷の少ないまちで暮らす！
- 3 みどり豊かで外出したくなるまちで暮らす！

## ⑥20年後、もっと歩きやすくなるためのまち改善 プロジェクト

### ■平成27年度の主な実施状況

- 国の支援制度を活用した取り組みの一体的な推進のため、都市再生特別措置法第46条第1項に基づく「都市再生整備計画」を作成し、国土交通省の「都市再生整備計画事業」の採択を受けた（基幹事業6事業、国費率45%）。

都市再生整備計画  
 地区名：茅ヶ崎駅周辺地区  
 計画期間：平成28年度～32年度  
 目標：環境に優しく豊かな生活が送れる低炭素まちづくり

➡ 歩きやすくなるためのまち改善に向けた、モデル地区での取り組みの推進。

### ■課題

- 高機能で環境負荷の少ないまちに向けた、個々の建築物の低炭素化や、街区単位での省エネルギー対策等、市民・事業者との協働による施策の推進
- 取り組みの推進に向けた財源の確保



※リーディングプロジェクト⑥の取組の「都市再生整備計画」への位置付け状況  
 = 計画区域、 = 基幹事業、 = 関連事業

# 低炭素まちづくりのリーディングプロジェクト⑥

## 将来像

- 1 歩きやすく、自転車が利用しやすい健康的なまちで暮らす！
- 2 高機能で環境負荷の少ないまちで暮らす！
- 3 みどり豊かで外出したくなるまちで暮らす！

## ⑥20年後、もっと歩きやすくなるためのまち改善プロジェクト

### ■今後の取組予定

- ・都市再生整備計画に位置づけた事業の一体的な推進

基幹事業	交付対象事業費(百万)	H28	H29	H30	H31	H32
中央公園	405		■	■	■	■
市役所前広場	547			■	■	■
公共サイン整備	52	■	■	■	■	■
駅前広場整備	8			■	■	■
駅前歩行者空間整備	43			■	■	■
駅前上屋整備	175			■	■	■

関連事業	全体事業費(百万)	H28	H29	H30	H31	H32
茅ヶ崎市役所本庁舎建替え(H26~)	7,843	■	■	■	■	■
駅前ロータリー改良	109	■	■	■	■	■
交差点改良(H27~)	363	■	■	■	■	■
歩行者・自転車走行空間整備	23	■	■	■	■	■

■基幹事業  
地域生活基盤施設  
市役所前広場  
0.8 ha



■基幹事業  
公園 中央公園  
4.0 ha



■基幹事業  
地域生活基盤施設  
公共サイン整備

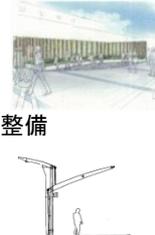


図解サイン(○)  
9箇所  
同定・指示サイン(△)  
21箇所

- ・トイレ施設整備(機能拡充)
- ・バリアフリー化整備
- ・自転車駐車スペース整備
- ・沿道ベンチ整備(外周歩道改良)
- ・水景施設整備
- ・備蓄倉庫整備
- など

○関連事業  
住環境整備事業  
茅ヶ崎市役所本庁舎建替え

■基幹事業  
高質空間形成施設  
地域生活基盤施設



駅前歩行者空間整備  
駅前上屋整備  
駅前広場整備

○関連事業  
道路 (.....)  
(歩行者・自転車走行空間整備)



○関連事業  
道路  
駅前ロータリー改良

○関連事業  
道路  
(交差点改良)  
L = 58 m

